

**製品名: FABP2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80791**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	15kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FABP2
別名	FABPI; I-FABP; MGC133132; FABP2
遺伝子 ID	2169.0
SwissProt ID	P12104
免疫原	大腸菌で発現したヒト FABP2 の精製された組み換え断片。

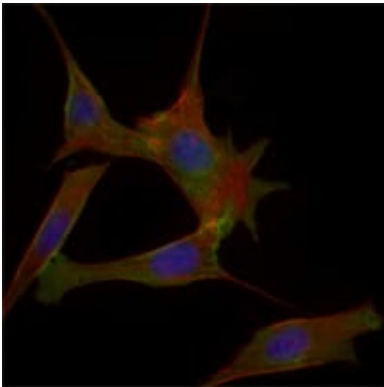
**背景**

細胞内脂肪酸結合タンパク質（FABP）は、約 20 種類のメンバーが同定されている多重遺伝子ファミリーに属します。FABP は、少なくとも肝臓型、腸管型、心臓型の 3 つの異なるタイプに分類されます。これらは 14~15 kDa のタンパク質を形成し、長鎖脂肪酸の取

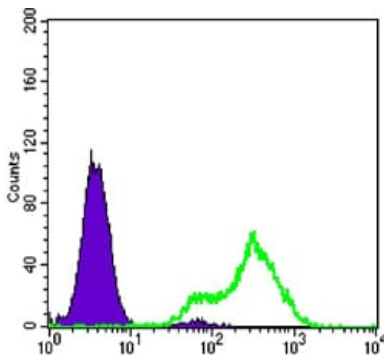
り込み、細胞内代謝、および/または輸送に関与すると考えられています。また、細胞の成長と増殖の調節にも関与している可能性があります。腸管脂肪酸結合タンパク質 2 遺伝子は 4 つのエクソンを含み、小腸上皮細胞に豊富に存在する細胞質タンパク質です。この遺伝子は、コドン 54 にアラニンをコードする対立遺伝子とスレオニンをコードする対立遺伝子の多型性を有しています。Thr-54 タンパク質は、脂肪酸化の増加とインスリン抵抗性と関連しています。したがって、FABP2 の遺伝的変異は、さまざまな食物繊維に対する血漿リポタンパク質の反応における個人差に寄与している可能性があります、そのメカニズムは糞便中の胆汁酸分泌の増加とは関係がないようです。

## 研究分野

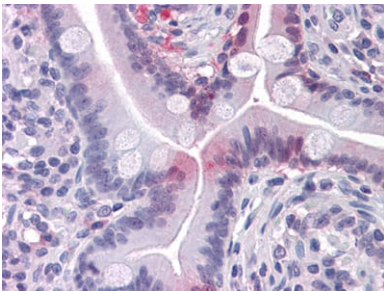
## 画像データ



FABP2 マウス mAb (緑) を用いた 3T3-L1 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



FABP2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した LOVO 細胞のフローサイトメトリー分析。



FABP2 マウス mAb を用いたパラフィン包埋ヒト小腸組織の免疫組織化学分析